



ソロモン王と神殿

ダビデ王は長年の間、イスラエルを治めました。ダビデ王の死後は、息子のソロモンが王様になりました。ソロモン王が国を治めている間、国中には平和がありました。ソロモンは周りの国々と、良い関係を結びました。

ソロモン王は、その知恵と富と著作物で有名です。彼の偉業の一つは、エルサレムに建設された神殿です。

この神殿の建設には、7年の歳月がかかりました。神殿は、石材と、ツロから取り寄せた杉の木で建てられ、彫刻が掘られ、金でおおわれました。

神殿が完成すると、今まで方々を運ばれてきた契約の箱が、中に納められました。それは、見るからに壮大で堂々とした神殿でした。

列王記上 第5-7章には、神殿建築の様子が書かれています。読んでみましょう。